

平成24年度 在宅医療連携拠点事業活動報告

2013・1・26



石巻市立病院開成仮診療所
在宅医療連携拠点事業所

地域の概要

■ 宮城県石巻市



人口 152,158人

面積 555.78km²

高齢者人口 40,502人

高齢化率 26.3%

要支援・介護認定者数 6,880人

要介護認定率 16.9%

医療資源 ・病院 7ヵ所

・診療所 87ヵ所

(うち、在宅療養支援診療所7ヵ所)

地域包括支援センター 12事業所

石巻市公式ホームページより

石巻市の地域特性



① 1市6町で合併し(平成17年4月1日)、工業・農業・漁業までを幅広く含み、東京23区の2/3の広さである。

② 石巻市は東日本大震災の最大の被災地である。(H24. 12月末現在)

死者 3490人(関連死含)

行方不明者 453人

全壊家屋 18560棟

半壊・一部損 12706棟

石巻市公式ホームページより

石巻市立病院から開成仮診療所へ



当診療所の主な活動内容

- 1. 外来ープライマリ・ケア、とくにメンタルケア
- 2. 保健活動・生活支援活動との連携・支援
- 3. ボランティアとの連携と引き継ぎ
- 4. 仮設住宅自治会活動や地域での支えあいとの連携や支援
- 5. 在宅ケアから地域包括ケアへ向けた取り組み
- 6. 復興の際の街づくりや地域保険や介護計画に関与
- 7. 東北にプライマリ・ケアの拠点をつくり人材育成を行う



在宅医療連携拠点が行う事業

■ 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

● アンケートの実施

➤ 目的

医療・介護資源調査
連携課題の抽出

➤ 調査期間

平成24年9月8日(土)～9月17日(月)

➤ 調査対象

石巻市内の主な医療機関・介護サービス事業所等

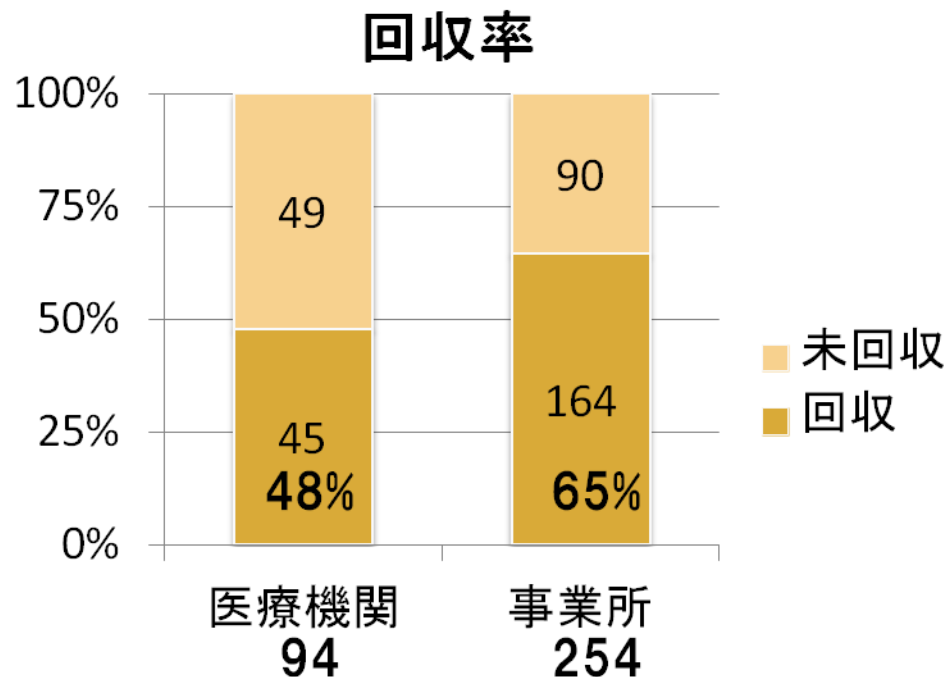
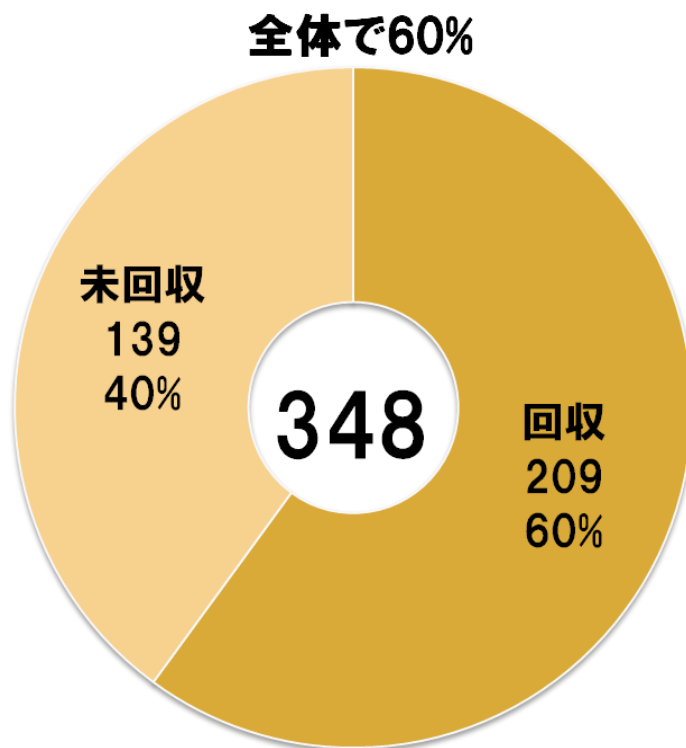
⇒348カ所

➤ 方法

調査用紙郵送による質問紙法

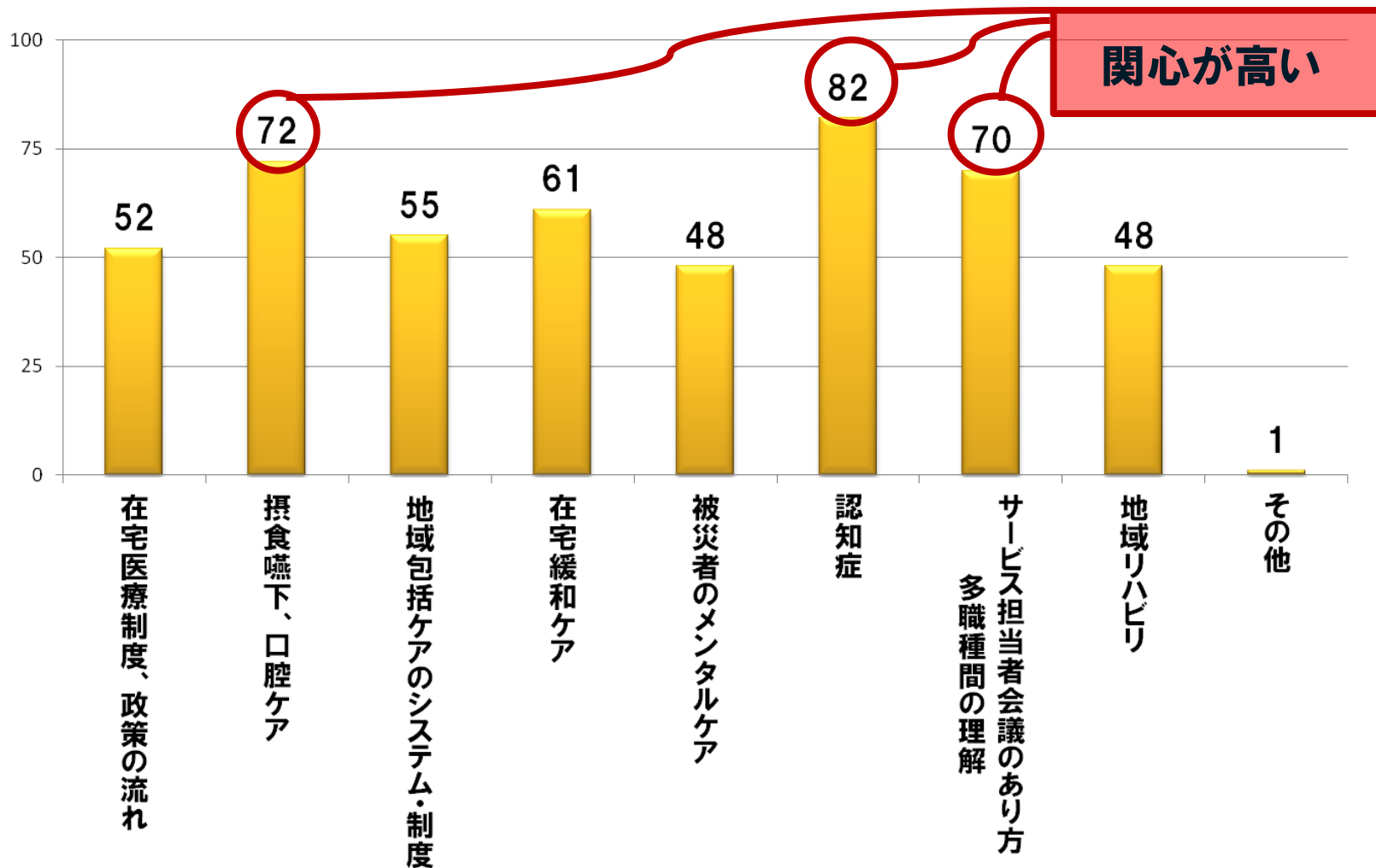


アンケート回収率



医療機関より、介護サービス事業所からの回収率が高い！

関心の高い勉強会～アンケート結果～



多職種連携の課題が明らかに

■ 連携課題抽出のためのアンケート結果より(一部抜粋)

- 医師会との連携は難しい
- 医療職には会議への参加を依頼しづらい
- 医療機関との壁を感じる、敷居が高い
- 多職種での交流機会、情報交換が不足している
- 情報が一方通行で情報の共有がされていない
- お互いの業務領域が不明瞭

まとめ

- 医療機関との連携のむずかしさ
- スムーズな情報共有が不足
- 多職種間でのお互いの理解が不足
- 交流の機会が不足

在宅医療連携拠点が行う事業

■ 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

● 多職種合同研修会の開催

回数	日程	主な内容	参加人数
第1回	10/27	地域包括ケアの推進について	99名
第2回	11/13	在宅における摂食嚥下・口腔ケアについて	124名
第3回	12/14	地域医療の連携 ～病院から診療所そして在宅へ	147名
第4回	3/初旬 予定	認知症の理解と包括的医療ケアのポイント	—

第1回多職種合同研修会

- 日時:平成24年10月27日(土)13:30~16:10
- 場所:石巻合同庁舎 5階 大会議室
- 目的:地域の在宅医療に関わる多職種が一堂に会する場を設け、
地域における連携上の課題の抽出と地域包括ケアへの理解を深める。
- 内容:
 - (1)在宅医療と在宅医療連携拠点事業について
石巻市立病院開成仮診療所 所長 長 純一
 - (2)「在宅医療連携ガイド作成に関するアンケート調査」結果報告
石巻市立病院開成仮診療所 在宅医療連携拠点事業担当 安達祥子
 - (3)意見交換「石巻における多職種連携の課題について」
 - (4)講演「地域包括ケアの推進について」
講師 厚生労働省 老健局振興課 地域包括ケア推進係 係長 山田大輔
 - (5)意見交換「多職種連携の課題に対する解決策について」

合同研修会意見交換会



第2回多職種合同研修会

- 日時:平成24年11月13日(火)18:00～
- 場所:石巻専修大学 4202教室
- 目的:地域の在宅医療、介護従事者等の多職種が研修会を通じて口腔ケアの知識を深める。また、多職種間で意見交換、情報共有できる場を設け、お互い顔の見える関係づくりを図る。
- 内容:
 - (1) 報告「仮設住宅での歯科口腔保健事業」について
石巻市健康部健康推進課 技術課長補佐 西條広子
 - (2) 講演「在宅における摂食嚥下・口腔ケアについて」
講師 広島大学非常勤講師ほか 牛山京子

第2回多職種合同研修会風景



第3回多職種合同研修会

- 日時:平成24年12月14日(金)18:30～
- 場所:石巻グランドホテル
- 目的:地域医療に携わる医療機関や介護事業所が、一堂に会する講演会や懇親会を開催することで、多職種連携を促進する。

内容:

- (1) 「石巻における地域連携の課題と今後」
石巻市立病院開成仮診療所 所長 長 純一
- (2) 「地域医療連携の基本姿勢」
北海道大学名誉教授 前沢政次
- (3) ディスカッション
- (4) 懇親会



第3回多職種合同研修会

- ＊当事業からは懇親会費の計上が認められないため、他の病院と共催し、講演会と懇親会の開催をおこなった。



在宅医療連携拠点が行う事業

■ 在宅医療に従事する人材育成

● 問題点

8～9月に市内の医療機関に行ったアンケート結果から、在宅医療に関心のある医療機関が少ない。人口と医療機関数、医師数の比較からこの地域の医師数は少ない。

この地域の開業医の特徴は？

- ・代々続く開業医が多い
- ・後継者不在
- ・医師の高齢化が明らか



在宅医療連携拠点が行う事業

⇒ **被災地での将来的な在宅医療従事者増加のため**

- 医師・医学生・看護学生の研修受け入れ 計12名
- 学会での講演、研修会での講師
- 学生セミナー開催 計2回

等を積極的に開催



その他の活動実績

■ 在宅医療推進活動(講演・講師)

講演タイトル	主催
在宅での看取り	家庭医セミナー
安全と安心の地域医療を守るために	JA長野厚生連佐久総合病院
地域リハビリについて	宮城県東部保健福祉事務所
「日本における多職種連携による地域医療福祉の創意と工夫」	日本保健医療福祉連携教育学会
地域包括ケアのまちづくり	さわやか福祉財団
石巻の在宅医療の課題と今後	石巻赤十字病院
地域医療を通して石巻の再生を目指す	日本の医療を守る市民の会
がんの病診連携と在宅での看取り	石巻がん医療セミナー
地域包括ケアについて	さわやか福祉財団
地域の訪問診療について	岩手県立高田病院
病院・施設・在宅の看取り	宮城県遠田郡涌谷町
多職種連携による地域ケア会議の意義	宮城県長寿社会政策課
被災地石巻での活動	秋田県潟上南秋ケアネット
石巻における地域医療の課題と今後の展望	東北厚生局

被災地の特性を生かした支援

■ 仮設住宅における各種会議へオブザーバーとして参加

会議名	頻度	当事業所からの参加者
稲井地区エリアミーティング	1回/月	医師・看護師・理学療法士・社会福祉士
保健コーディネーター会議	1回/月	医師・看護師・社会福祉士
自治会連合会会議	1回/月	医師・社会福祉士
開成ボランティア会議	1回/月	医師・理学療法士・社会福祉士
石巻地区在宅ケア連絡会	1回/1～2月	医師・看護師・社会福祉士
リハビリテーション支援事業会議	3回/年	理学療法士
災害復興協議会会議	1回/月	医師・社会福祉士

稲井地区エリアミーティング→



今後の課題

- 地域ケア会議の開催支援
- 保険薬局、歯科診療所との連携
- 医師の増員により、他機関の在宅医療従事者に対する負担の軽減を図る
- チーム医療を提供するための情報共有システムの整備



**みやぎ医療福祉情報ネットワーク
(MMWIN) への参加**



ご静聴ありがとうございました。



石ノ森まんが館



石巻の地酒



石巻焼きそば